

管理番号	検査項目	掲載日
1-B-2	巻上機綱車溝の摩耗状態の判定基準（ギヤレス）	2025-1-8

1. 適用

表 1 に示す巻上機に適用します。

表 1. 適用表

巻上機型式	綱車の溝形状	巻上機型式	綱車の溝形状
CR-102	アンダーカット型	CR-114	U 型
CR-112 シリーズ		CR-115 シリーズ	
CRL-320 シリーズ		CRL-340 シリーズ※ ¹	
CRL-321 シリーズ		CRL-370 シリーズ	
CRL-335 シリーズ		CRL-390	
CRL-340A		CRL-640 シリーズ※ ²	
CRL-635 シリーズ		CRL-670 シリーズ	
CRL-640A		CRL-800 シリーズ	
CRL2045 シリーズ			
CRL2090 シリーズ			
CRL2140 シリーズ			
CRL2180 シリーズ			
CRL3045 シリーズ			
CRL3160 シリーズ			
CRL3220 シリーズ			
CRL3340 シリーズ			
TMLR11E シリーズ			
TMLR08E シリーズ			
PM13T シリーズ			
PM15T シリーズ			
CRM4100 シリーズ			

CR-112、CR-112A など型式の展開を CRL-112 シリーズと総称しています。他の型式についても同様です。

※¹ CRL-340A を除きます。※² CRL-640A を除きます。

2. 判定基準

綱車の各溝に対して、3. 判定基準にある寸法を測定し判定を行ってください。

管理番号	検査項目	掲載日
1-B-2	巻上機綱車溝の摩耗状態の判定基準（ギヤレス）	2025-1-8

3. 判定基準

3. 1 綱車の溝がアンダーカット型の場合

綱車の摩耗限界は下記に示すように管理願います。

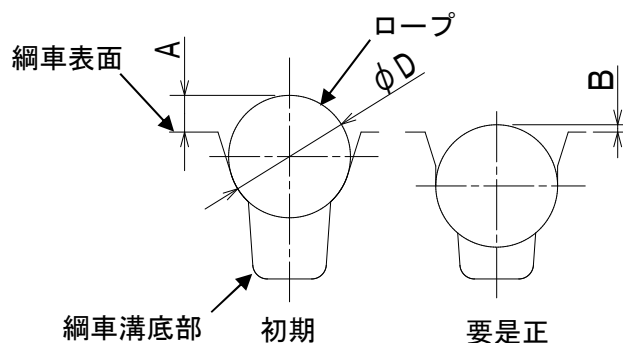


図1. 綱車の摩耗限界

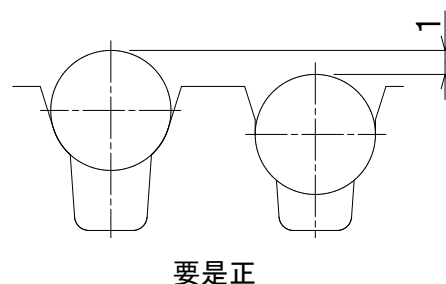


図2. 綱車溝間の摩耗差

表2. 適用巻上機と各寸法一覧

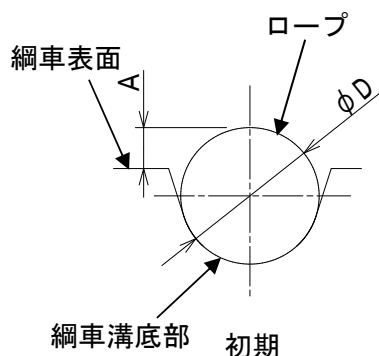
巻上機型式	ロープ径 D[mm]	初期ロープ高さ A[mm]	要是正 B[mm]
CR-102、CR-112 シリーズ CRL-320 シリーズ、CRL-321 シリーズ CRL-335 シリーズ、CRL-635 シリーズ	φ12	4.4	0.4
CRL-340A、CRL2045 シリーズ、 CRL3045 シリーズ、 PM13T シリーズ、PM15T シリーズ	φ12	5	2
TMLR11E シリーズ TMLR08E シリーズ	φ12	4.4	1.4
CRL-640A	φ12	5	2
	φ14	6	3
CRL2090 シリーズ CRM4100 シリーズ	φ12	5	2
	φ14	6	3
	φ16	7	4
CRL2180 シリーズ	φ16	7	4
	φ18	8	5
	φ20	9	6
CRL2140 シリーズ CRL3160 シリーズ CRL3220 シリーズ	φ14	6	3
	φ16	7	4
	φ18	8	5
	φ20	9	6
CRL3340 シリーズ	φ22.4	10.2	5.2

- ・ 綱車表面からのロープ高さがB[mm]となる前に交換ください。（図1、表2）
- ・ 前回までの点検データから、次回点検時に要是正の範囲になると予想される場合は交換してください。
- ・ 各ロープ溝間の摩耗に1[mm]以上の差がある場合は、ロープ径に関係なく交換が必要です。（図2）

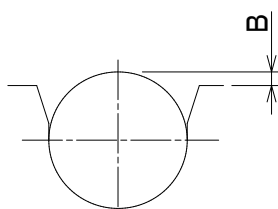
管理番号	検査項目	掲載日
1-B-2	巻上機綱車溝の摩耗状態の判定基準（ギヤレス）	2025-1-8

3. 2 綱車の溝がU型の場合

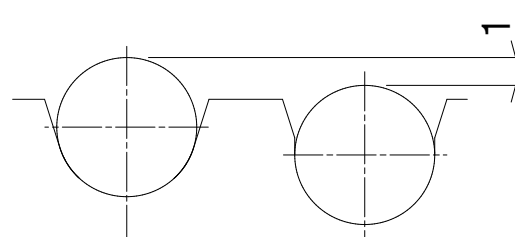
綱車の摩耗限界は下記に示すように管理願います。



初期



要是正



要是正

図 3. 綱車の摩耗限界

図 4. 綱車溝間の摩耗差

表 3. 適用巻上機と各寸法一覧

巻上機型式	ロープ径 D[mm]	初期ロープ高さ A[mm]	要是正 B[mm]
CRL-340 シリーズ※3	φ 12	5	2
CRL-390	φ 14	6	3
CR-114	φ 14	6	3
CR-115 シリーズ	φ 16	7	4
CRL-370 シリーズ	φ 12	5	2
CRL-640 シリーズ※4	φ 14	6	3
CRL-670 シリーズ	φ 16	7	4
CRL-800 シリーズ	φ 14	6	3
	φ 16	7	4
	φ 18	8	5

※3 CRL-340A を除きます。

※4 CRL-640A を除きます。

- ・ 綱車表面からのロープ高さが B[mm] となる前に交換ください。（図 3、表 3）
- ・ 前回までの点検データから、次回点検時に要是正の範囲になると予想される場合は交換してください。
- ・ 各ロープ溝間の摩耗に 1[mm] 以上の差がある場合は、ロープ径に関係なく交換が必要です。（図 4）